

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えましょう

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症感染拡大と季節性インフルエンザの同時流行の可能性がります。

同時流行が起こると、より多くの発熱患者が同時に生じる可能性があり、そうなった場合、発熱外来等にかかりづらくなるおそれがあるため、事前の準備が重要です。

また、感染状況や、一人ひとりの重症化リスク等に応じた外来受診・療養へのご協力をお願いします。

添付リーフレットをご参照ください。

この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

！ 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

感染が拡大する前の接種をご検討ください

- ・**新型コロナワクチンの接種**
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・**インフルエンザワクチンの接種**
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

発熱などの体調不良時にそなえて、早めに購入しておきましょう

- ・**新型コロナ抗原定性検査キット**
- ・**解熱鎮痛薬**
かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。

あわせて確認しておきましょう

- ・**電話相談窓口などの連絡先**
受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など
その他、生活必需品なども用意しておきましょう。（体温計・日持ちする食料（5〜7日分）など）

国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。

国が承認した検査キットの一覧

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

医療用 一般用

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方 (高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など)・ 小学生以下の子どもと保護者の方へ

感染が拡大する前の接種をご検討ください

- ・**新型コロナワクチンの接種**
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・**インフルエンザワクチンの接種**
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

新型コロナウイルスの重症化リスクの高い方は

速やかに発熱外来（診療・検査医療機関）を受診してください。
新型コロナ抗原定性検査キットで陽性が確認された場合は、その結果を受診時に医師に伝えてください。

かかりつけ医がいる場合 **かかりつけ医にご相談ください。**

受診を迷った場合 **電話相談窓口などをご利用ください。**

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）など

！ 以下の項目や疾患に該当する方は新型コロナウイルスの重症化リスクが高いと考えられるため、早めに相談・受診しましょう。

<input type="checkbox"/> 65歳以上である	<input type="checkbox"/> 喫煙歴がある	<input type="checkbox"/> 妊婦している	<input type="checkbox"/> 肥満（BMI30以上）
<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 慢性腎臓病	<input type="checkbox"/> 脳血管疾患
<input type="checkbox"/> 高血圧	<input type="checkbox"/> 脂質異常症	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 免疫機能の低下の可能性

小学生以下の子どもは

かかりつけ医ははじめ地域の小児科医などにご相談ください。
特に、子どもの場合は、症状は年齢などによって様々です。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てず様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

受診を迷った場合 **電話相談窓口などをご利用ください。**

「救急車利用マニュアル」、「こどもの救急」等関係Webサイトの参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など

！ 2歳未満では新型コロナ、5歳未満ではインフルエンザ、基礎疾患のある子どもは年齢にかかわらず両方の重症化リスクがありますので、心配なことがあれば、予めかかりつけ医と対応を相談しておきましょう。



新型コロナウイルスの重症化リスクの低い方へ (高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方)

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。重症化リスクの高い方を守るため、健康フォローアップセンターをご活用ください。

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

まずはご自身で新型コロナ抗原定性検査キットで検査してください。

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。

国が承認した検査キットの一覧

体外診断用医薬品 第一類医薬品 研究用

医療用 一般用

陽性だった場合は、地域の健康フォローアップセンターに登録して自宅療養をお願いします。

- ・体調変化時には、健康フォローアップセンターにご連絡ください。
- ・検査キットの結果が陰性でも新型コロナやインフルなどに感染している場合があります。感染拡大を防ぐため、体調不良が続くときは、自宅で療養をお願いします。

！ 受診を迷った場合

電話相談窓口などをご利用ください。

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など

症状が重いなど受診を希望する場合

受診・相談センターに相談し、かかりつけ医・発熱外来の受診や電話診療・オンライン診療をご検討ください。

新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします



福島県のホームページに、発熱などの症状がある場合の相談・受診について詳しい記載がありますのでご参照ください。



福島県ホームページ

「発熱などの症状がある場合の相談・受診について」

